【6】教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること。（第6号関係）

6-1 学生に対する質の向上に係る取組

6-1-2. 授業科目外（正課外）としての取組（学生の参加・体験をとおして成長を促す取組・仕掛）

1） 保育イベントの開催

保育学科では学生が企画から運営までを行う取り組みを実施している。近隣の親子に触れあいと楽しみの機会を提供するとともに、併せて、近隣の皆さまに本学の保育学科に親しみを持っていただく機会にすること、および学生がさまざまな保育技術、企画力、実践力の向上をはかることを磨く機会とすることを目的としている。

取り組みの内容としては、毎年テーマを決め、会場の飾り付けからプログラム内容まで趣向を凝らし、保育現場の「おゆうぎ会」や「作品展」のようなテーマの世界を大学内に作り上げ表現していく。

「オープニング」ではオープニングムービーや手遊び、ペープサートを披露し、保育学科らしいワクワク感を来場者に伝えていく。

その後は来校者を対象にして、「工作」、「ゲーム」、「おはなし」、「エプロンシアター」、「パネルシアター」など学生が指導者となり保育のごとく展開していく。

「エンディング」では卒業生が作詞作曲を手掛けた「ながれぼし」という歌に、別の卒業生が手話をつけたパフォーマンスを上演。毎年、全員の動きが一糸乱れぬ動きになるまで練習を重ね、代々大切に受け継がれてきた演目となっている。この経験は保育者として子どもの前に立つときに大きな自信となり、長く保育職を続ける礎となっている。

2） 『ウインターフェスティバル』の開催

保育学科の学生による音楽の発表の場として開催している。ピアノ演奏や連弾、独唱、合唱、弾き語りなどを中心に日々の学びの成果を確認し、将来の保育職として音楽を楽しみ、人前でも緊張せず演奏できることを目的としている。

毎年実施している恒例行事で、令和4年度からは名称を変え、今年で第49回となっている行事である。会場は、大阪学舎３号館で行っている。